



## 2019年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月6日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東  
 コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榎田 裕之 TEL 03-5977-3377  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第1四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第1四半期	5,708	13.8	1,528	131.4	1,555	131.7	877	84.5
2018年6月期第1四半期	5,018	—	660	—	671	—	475	—

(注) 包括利益 2019年6月期第1四半期 885百万円 (83.2%) 2018年6月期第1四半期 483百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第1四半期	122.22	121.74
2018年6月期第1四半期	66.26	66.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第1四半期	23,476	17,502	74.3
2018年6月期	22,382	17,334	77.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第1四半期 17,439百万円 2018年6月期 17,271百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	22,900	8.0	3,660	6.5	3,630	5.2	2,540	6.9	353.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期1Q	7,265,212株	2018年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2019年6月期1Q	83,569株	2018年6月期	83,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期1Q	7,265,212株	2018年6月期1Q	7,265,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外ではトルコリラの急落や米国発の貿易摩擦、国内では猛暑と度重なる自然災害といった波乱要因はあったものの、好調な米国経済、企業の積極的な設備投資、円安傾向などを背景に、全体として緩やかな回復傾向が続きました。

このような経済環境の中、I rルツボや半導体製造装置メーカー向け温度センサーの受注は顧客の生産調整の影響で伸び悩みましたが、有機EL向けや電極向けの化合物・貴金属原料、銀合金ターゲット、HD向けルテニウムターゲットの受注が好調に推移しました。また一部貴金属の価格上昇と不足感を背景に顧客による前倒し購入が加わり、売上高・利益ともに影響を受けました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高5,708百万円(前年同四半期比13.8%増)、売上総利益2,024百万円(前年同四半期比72.7%増)、営業利益1,528百万円(前年同四半期比131.4%増)、経常利益1,555百万円(前年同四半期比131.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益877百万円(前年同四半期比84.5%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## ①セグメント別の業績

## [電子]

スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は顧客の生産調整の影響を受けて低調に推移しましたが、ガラス溶解装置向け白金製品の受注が堅調に推移し、売上高1,061百万円(前年同四半期比23.4%減)、売上総利益361百万円(前年同四半期比57.5%増)となりました。

## [薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が堅調に推移したほか、HD向けルテニウムターゲットの受注も好調に推移し、一部貴金属の価格上昇もあって、売上高2,349百万円(前年同四半期比51.9%増)、売上総利益762百万円(前年同四半期比100.7%増)となりました。

## [センサー]

海外半導体メーカーからの受注は堅調だったものの、半導体製造装置メーカーの生産調整の影響があり、売上高526百万円(前年同四半期比6.9%減)、売上総利益170百万円(前年同四半期比12.9%減)となりました。

## [ケミカル]

有機EL向け及び電極向けの貴金属化合物の受注が好調で、触媒の受注も堅調だったことに加え、一部貴金属の価格上昇や不足感からの前倒し受注が加わり、売上高1,737百万円(前年同四半期比17.3%増)、売上総利益721百万円(前年同四半期比101.4%増)となりました。

## ②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は3,046百万円(総売上高に占める割合は53.4%)となりました。地域別にはアジア向け売上高1,700百万円(海外売上高に占める割合は55.8%)、北米向け売上高841百万円(海外売上高に占める割合は27.6%)、欧州向け売上高504百万円(海外売上高に占める割合は16.6%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は23,476百万円(前連結会計年度末比1,093百万円の増加)、負債は5,973百万円(前連結会計年度末比926百万円の増加)、純資産は17,502百万円(前連結会計年度末比167百万円の増加)となりました。

## ①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は13,453百万円となり、前連結会計年度末比88百万円減少いたしました。これはたな卸資産が1,531百万円増加しましたが、現預金が1,056百万円、受取手形が400百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

## ②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は10,022百万円となり、前連結会計年度末比1,182百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1,428百万円増加したことが主な要因であります。

## ③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は3,690百万円となり、前連結会計年度末比850百万円増加いたしました。これは買掛金が978百万円増加したことが主な要因であります。

## ④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は2,283百万円となり、前連結会計年度末比76百万円増加いたしました。これは長期借入金が70百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は17,502百万円となり、前連結会計年度末比167百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が159百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2018年8月7日付「2018年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,068	2,012
受取手形及び売掛金	3,065	2,754
商品及び製品	321	457
仕掛品	977	1,247
原材料及び貯蔵品	5,168	6,294
その他	939	687
流動資産合計	13,541	13,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,184	2,159
機械装置及び運搬具(純額)	3,747	4,293
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	25	22
建設仮勘定	82	993
その他(純額)	45	45
有形固定資産合計	7,697	9,125
無形固定資産		
投資その他の資産	60	56
投資有価証券	37	36
繰延税金資産	950	708
その他	96	97
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	1,082	840
固定資産合計	8,840	10,022
資産合計	22,382	23,476
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	464	1,442
未払法人税等	604	464
賞与引当金	265	132
1年内返済予定の長期借入金	780	780
その他	726	870
流動負債合計	2,840	3,690
固定負債		
長期借入金	1,285	1,355
退職給付に係る負債	484	493
資産除去債務	16	16
その他	420	418
固定負債合計	2,206	2,283
負債合計	5,047	5,973
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	6,656	6,815
自己株式	△252	△252
株主資本合計	17,263	17,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	11
為替換算調整勘定	△4	4
その他の包括利益累計額合計	7	16
新株予約権	63	63
純資産合計	17,334	17,502
負債純資産合計	22,382	23,476

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
売上高	5,018	5,708
売上原価	3,846	3,684
売上総利益	1,171	2,024
販売費及び一般管理費	510	495
営業利益	660	1,528
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	18	31
助成金収入	6	6
その他	1	1
営業外収益合計	26	39
営業外費用		
支払利息	4	3
デリバティブ評価損	10	10
その他	0	0
営業外費用合計	16	13
経常利益	671	1,555
税金等調整前四半期純利益	671	1,555
法人税、住民税及び事業税	77	435
法人税等調整額	117	241
法人税等合計	195	677
四半期純利益	475	877
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	475	877

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	475	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△0
為替換算調整勘定	2	9
その他の包括利益合計	7	8
四半期包括利益	483	885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483	885
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,385	1,546	564	1,481	4,978	39	5,018
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,385	1,546	564	1,481	4,978	39	5,018
セグメント利益	229	379	196	358	1,163	8	1,171

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,061	2,349	526	1,737	5,674	34	5,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,061	2,349	526	1,737	5,674	34	5,708
セグメント利益	361	762	170	721	2,015	8	2,024

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

### 3. その他

(たな卸資産の固定資産振替)

当社は、第1四半期会計期間において、当社が保有する貴金属地金について、利用実態により即した地金管理を行うため、管理体制を変更しました。その結果、たな卸資産の一部を固定資産に振替えております。

これにより、「仕掛品」が960百万円減少し、「建設仮勘定」が960百万円増加しております。